

区分		No.	内容
システム要件	システム要件	1	導入するシステムに関し、導入実績において、公的診療所（診療室2科以上）にて導入し現在も継続して運用されていること。
		2	同規模の診療所において十分な稼働実績があり、かつ加佐診療所の業務内容に対応できるシステムであること。
		3	現行稼働のレセプトコンピュータ（富士通HOPE SX-R）から全データ（患者基本・保険・処方・病名）の移行をすること。 ※PDFデータでの移行は不可とする。
		4	現行稼働のレセプトコンピュータ（富士通HOPE SX-R）から処方データを移行し、電子カルテ処方欄に履歴として展開でき、また、新規オーダーに反映できること。
		5	導入時、無償でオンライン資格確認システム（診療所設置済み）とシステム連携し運用を可能とすること。
	セキュリティ対策	6	加佐診療所とデータセンターとの接続回線はIP-VPNまたはIPsec/IKEを利用しセキュリティ対策を実施すること（加佐地区のインターネット環境はeo光インターネット回線のみ利用可能）。
		7	情報セキュリティ等に関する公的認証（ISMS、JIPDECプライバシーマーク等）を取得していること。
		8	運用・保守・点検におけるセキュリティ対策を実施していること。
		9	セキュリティ対策ソフトがインストールされ、最新のセキュリティパターンファイルが適用でき、常時監視が可能なこと。また、ウイルス監視によるシステムの動作環境に影響がないこと。
	システム機能	10	電子カルテシステム（オーダーリングシステム可） ※導入時は医事会計・レセプト電算システム・処方オーダー・病名登録を運用するが、標準機能として別のオーダー種（検査、画像、注射等）の運用が可能であること。
		11	Windows上で動作できるシステムであること。また、入力端末を利用して各種市販ソフト（Excel、Word等）が使用できること。
		12	業務立ち上げ時、端末側のマスタ・テーブル類を最新化できるシステムであること。
	バックアップ機能 （端末およびクラウド機能）	13	万一の事態に備えるために、バックアップシステムを提供すること。 バックアップ方式に関しては院内へのバックアップ且つクラウドセンター（日本国内に限る）へのバックアップを提供しデータを自動保管できること。
		14	各端末（サーバー含）ダウン時にはすみやかに他端末のみで過去カルテ内容および医事会計内容を参照出来るシステムであること。
		15	障害発生時に迅速に復旧可能な対策がなされていること。
		16	ネットワーク上にてフィルタリング、ルーティング、侵入検知システム等が機能し、不正アクセスを防止する為に適切なアクセス制御を施すこと。また、VPN接続による通信経路の暗号化や本人認証等の高度なセキュリティ対策を行うこと。
		17	日本データセンター協会が定めるファシリティ基準項目に準拠していること。また、すべての評価項目でティアⅢ以上の評価を有していること。
		18	データセンターにおいて漏えい等の事故が発生した場合は速やかに報告の上迅速に対応を行えること。
	患者基本登録機能	19	医事システム基本機能として、窓口会計業務、レセプト算定業務、診療情報管理、統計処理がおこなえること。
	保険登録機能	20	保険の有効期限の管理が可能であり、会計入力時に保険確認日の更新指示が行え、有効期間切れや翌月期間切れの保険に対する警告とその内容照会が行えること。
	会計機能	21	会計入力中の画面に、常時適用保険（有効保険含む）と給付割合が表示されていること。
	請求、領収機能	22	請求書記載の未収金額を本日の未収分（当請求書以外）と本日以外の未収分とに分けて出力できること。
		23	患者の求めに応じて明細の分かる金額記載の領収書を発行できること。
		24	全科分の未精算データを会計入力画面に表示することができること。
		25	指定日の未精算患者一覧を画面表示および未精算患者一覧表の出力が可能であること。

区分		No.	内容
システム要件	統計機能	26	統計データ項目がカスタマイズ可能で、集計内容を表示、印刷ができ、CSV等で出力保管可能で拡張性を持つこと(使用統計例参照)。 (帳票例) ・外来日報(患者数、年齢別、地区別、診療科別)集計 ・日計表、月計表、薬剤集 ・診療情報統計(医業収益分析、総括統計、返戻患者集計) ・請求統計(総括表、診療行為別集計、未収金日報および月報) ・入金統計、未収金統計、薬剤集計、病名集計
	予約機能	27	患者の予約状況表示、診察待ち表示ができること。
	レセプト電算機能	28	レセプト電算が端末2台で並行して行うことができること。
		29	任意の患者指定、連続、保険指定等にてレセプト発行が行えること。
		30	社保・国保等の請求書が発行でき、返戻処理が可能であること。
		31	オンライン請求のための標準化に適應したデータ作成が可能であること。
		32	レセプトチェック機能があること。
		33	福祉請求書(ひとり親、重度心身)の請求書が発行でき、返戻処理が可能であること。
		34	乳児請求明細書の作成が可能であること。
		35	レセプトオンライン請求においてUSB等により、請求システムへデータの受渡しが可能でオンライン請求が可能であること。
	帳票類	36	当診療所使用の帳票類(帳票例参照)と同等の内容を登録、作成、印刷ができ、無償でレイアウト、文字、印影等修正カスタマイズ等拡張性を持つこと。 (帳票例) ・診療情報提供書 ・紹介状 ・診断書 ・報告書 ・診療費請求書兼請求書 ・薬剤情報
		37	点数明細および金額が印字された診療明細書が発行できること。
		38	プリンタ障害が発生した場合に、容易に別のプリンタに出力が可能であること。
	病名機能	39	病名入力は電子カルテ画面および医事システムから入力が行えること。
		40	病名の新規登録に関し、「目次検索(ICD10分類などからの絞り込み)／診療科別の頻用病名リスト／医師別の頻用病名リスト／キーワード検索」からの病名選択ができること。
		41	現行稼働のレセプトコンピュータ(富士通HOPE SX-R)から病名データを移行し、電子カルテ病名欄に履歴として展開できること。
		42	「疑い」病名については消去月数の入力によりレセプト出力時に「疑い」表示を自動消去できる。また「疑い」病名の場合には指導・管理料の督促や特定疾患処方管理加算の自動発生を抑制できること。
		43	早期区分(治癒月数)のマスタからの自動設定および治癒月数の入力により、病名終了日を自動発生させることができる。また、表示中の病名に対し、病名終了日と転帰区分を一括して設定できること。
		44	医師頻用病名の随時登録ができること。

区分		No.	内容
システム要件	電子カルテシステム	45	病名登録(医事レセプトシステム連携)可能。
		46	処方入力(医事システム連携あり)可能。
		47	注射入力(医事システム連携あり)可能。
		48	検査入力(医事システム連携あり)可能。
		49	画像入力(医事システム連携あり)可能。
		50	複数端末による同一患者の同時データ更新の防止ができる(患者ロック処理)。この場合、どの端末で処理されているか端末番号およびログイン者名の表示ができる。
		51	職種または ID による権限設定が可能。
		52	オーダー入力はセット登録が可能で、どの診療行為でも混在して登録および入力可能。
		53	処方チェック機能(患者個別禁忌情報・分量・用法・容量)を備える。
		54	処方オーダーに関して、処方入力時に該当処方の添付文書閲覧が可能。
		55	薬剤エラーチェックソフトを備えること。
		56	処方オーダー入力後、カルテ控えラベルの印刷が可能。
		57	容易にセット登録・セット流用を行うことができる。
		58	代行入力(クーク入力)が可能である。
		59	オーダーされた診療内容は時系列で表示され、選択的に診療行為毎に表示可能であり、それを参照しながらDO入力できる。
		60	所見はカルテ過去オーダー画面から直接DO入力が可能。
	マスタメンテナンス	61	点数・薬価マスタとも診療所向け基本マスタを標準提供できるシステムであること。
		62	診療所向け標準マスタは全て提供させること。
		63	薬価・点数改訂時には自動で改正されること。
		64	新薬・材料の追加など、診療所職員でのメンテナンスも可能なシステムである。
		65	環境設定(インストール)マスタおよび様式(請求書、レセプト等)マスタの世代管理が行えるシステムである。また、保険者マスタ(給付割合、漢字保険記号、各種負担サイン等設定可)についても世代管理が行えるシステムであること。
	機器類	66	納品時において最新又は現行モデルであること。
		67	ハード、ソフトともに5年間は耐用し、動作環境が損なわれず信頼性があること。
		68	データはサーバーに7年以上記録できるシステムであること。
		69	ディスクアレイ化やミラーリング等の採用で万全なシステムを構築し、障害発生時のデータの復元を可能とするシステムであること。
		70	運用に関連するネットワーク構築を含めること。 (※必要なネットワーク系機器(HUB、ルーター、LAN)を含める)

区分		No.	内容
システム要件	システム機器要件	71	電子カルテ・医事システムサーバ（クライアントサーバー可）は下記記載同等の機能を要すること CPU: インテル® Xeon® 3.5GHz 4コア以上 SSD500GB以上 (RAID5必須) メモリ16GB 109キーボード DVDマルチドライブ搭載 UPS(無停電電源装置)による停電対策
		72	電子カルテ・医事システムクライアント(2台)は下記記載同等の機能を要すること CPU: Corei5 以上 SSD 500GB以上 メモリ16GB 109キーボード USBレーザーマウス DVDマルチドライブ 液晶モニターは解像度フルHD(1920×1080)以上
		73	プリンター 受付医事システム 1台 (モノクロレーザープリンタ) 診察室 1台 (モノクロレーザープリンタ) ラベルプリンタ 2台(1台は診察室にカルテ控えラベル出力用、1台は事務調剤室にお薬手帳貼付け処方ラベル出力用) ※オンサイト保守が可能であること ※各端末から共有プリンタとして印刷指示が可能であること
		74	レーザープリンタ要件 ※紙詰まり等のトラブルが少なく耐久性、静粛性に優れていること ※カルテ表紙の厚紙(重量90kg～100Kg)に問題なく印字できること ※100BASE-Tx のLANポートを搭載していること ※USBポートを搭載していること
		75	デスクトップ3台 ディスプレイ 23インチであること(※1台はクライアントサーバーでの運用可)。
		76	システム運用時、動作の影響に係わる障害時でのソフトの更新が可能であること。 (※OS、Microsoft Office(Excel,Word)ソフト含む)
サポート要件	サポート体制	77	導入後5年、ハード保守ができること（別途 保守料等を明記すること）。 ※メーカーハード保守期間がある場合はその後の保守体制を明記すること。
		78	導入後7年、ソフト保守ができること（別途 保守料等を明記すること）。
		79	保険改定時等において無償(保守料金内)で改定データに更新し、最新の状態を維持できること。
		80	利用開始後も制度改正及び機能バージョンアップのプログラムを保守期間内に限り都度提供すること。
		81	ソフト更新等は保守料金内で行われること(保守外事項については明記すること)。
		82	納入者は業務に精通したもので、これらシステムを導入した経験を持つ者を配置すること。
		83	セキュリティを確保したりリモートメンテナンス(遠隔対応)ができること。
		84	職員に対し、システムの説明及び操作教育、障害発生の際の対応教育を実施し、必要なマニュアルを提供すること。
		85	導入業務を行うのにあたり工程表、システム構成図、操作説明書及びデータ移行確認資料を提出すること。
		86	平日に繋がる、操作に対する問い合わせ専用窓口を有していること。
保守管理体制	保守管理体制	87	電子カルテシステムのハード及びソフトの窓口は一本化されること。
		88	電子カルテシステムにおけるPC、サーバ等のハードウェアに関しては24時間365日保守対応可能なこと。
		89	障害時には診療所業務の遂行に支障を及ぼす影響を極小化するために迅速に対応できること。
		90	導入後、EOL(サポート終了)到来まで保守料が一定であること。 ※導入後のオプション追加等による保守料は別途協議とする。 ※EOLに関しては2年前に通知すること。 ※7年間は継続した運用サポートを提供すること。